

子ども・子育て支援ニーズ調査にご協力ください

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は、鹿沼市の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます
ございます。

さて、昨年8月、国において子ども・子育て支援法が成立し、平成27年度から、同法に
基づく子ども・子育て支援新制度が開始されることとなりました。

この新制度に対応するため、本市におきましては、保護者の皆様の就労状況やご家庭の
事情に拘らず、すべての子どもが等しく質の高い幼児期の教育・保育を受けられる環境整
備を進めるための基本指針となる「鹿沼市子ども・子育て支援事業計画」を策定すること
といたしました。

本調査は、保護者の皆様の子ども・子育て支援事業に関する「現在の利用状況や」「今後
の利用希望」などをお伺いし、計画に反映させることを目的に実施するものです。

つきましては、皆様方にはお忙しいなか誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いた
だき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

鹿沼市長 佐藤 信

調査票の記入にあたって

○この調査は、市内にお住いの小学校就学前のお子さん(平成19年4月2日以降生まれ)
を持つ、保護者の方を対象に実施するものです。

○本調査で回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的
な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、実際の利用にあたっては希
望を変更していただいて構いません。

○この調査の結果は、上記の目的以外には使用いたしません。また、調査の回答は、す
べて統計的に処理し、皆様に御迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見
をお書きください。

○記入された調査票は、 月 日 () までに、同封の封筒に入れてご提出願
います。

○このアンケート調査に関するお問い合わせは、次へお願いします。

鹿沼市保健福祉部こども支援課こども支援係

電話 0289-63-2160(平日8:30~17:00)

鹿沼市における教育・保育事業の実施状況

サービス名	サービスの概要	対象者	利用可能時間	利用料
市立・私立認可 保育所（園） （通常保育事業）	保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合に、県知事の認可を受けた保育所（園）で子どもを預かり、乳幼児期からの保育を提供する事業。	保育に欠ける小学校就学前の子ども	（施設により異なる） 月～金・土曜 最長 7：00～18：00	（0～2歳）0～45,000円 （3歳）0～25,000円 （4・5歳）0～23,000円
市立・私立認可 保育所（園） （延長保育事業） （夜間保育事業）	保護者の就労時間や通勤時間の確保のため、通常保育の時間を概ね30分以上延長して、保育所（園）で子どもを預かる事業。	保育に欠ける小学校就学前の子ども	（施設により異なる） 最長 ～20：30まで （延長保育） ～22：00まで （夜間保育）	施設により異なる。
認可外保育施設	県知事の認可を受けていないが届出を行った施設で、通常保育、一時預かり、夜間保育等のサービスを提供する事業。	主に小学校就学前の子ども	施設により異なる。	施設により異なる。
事業所内保育施設	事業所に併設された保育施設で、主に自社の従業員の子どもの預かる事業。	主に小学校就学前の子ども	施設により異なる。	施設により異なる。
私立幼稚園	小学校以降の学習や生活の基盤を作るため、私立幼稚園で子どもを預かり、就学前の幼児教育を提供する事業。	3～5歳児	平日 10：00～14：00 （清滝寺のみ 9：00～15：00）	施設により異なる。 ※約18,000～20,000円/月
私立幼稚園の 預かり保育	保護者の就労等により、家庭での保育が困難な場合に、降園時間後や長期休業時に、私立幼稚園で子どもを預かる事業。	私立幼稚園に通う幼稚園児のうち保育に欠ける子ども	終業後～ 18：30前後	施設により異なる。
ファミリー・サポート・センター	育児の応援を依頼したい人と育児を応援できる人が会員として登録し、保育所や幼稚園の送迎等の相互援助を行う事業。	小学校3年生までの子どもを養育しており会員登録している方	平日 7：00～19：00 ※その他の時間帯は要相談	【月～金の7：00～19：00】 300円/30分 【上記以外の時間帯】 350円/30分
休日保育	保護者の就労等により、日曜・祝日に家庭での保育が困難な場合に、保育所（園）で子どもを預かる事業。	1歳から小学校就学前の保育所（園）入所児童	8：00～17：30	3歳未満児 300円/時 （昼食含む） 3歳以上児 200円/時 （昼食・おやつ代含む）
病児・病後児保育	子どもが病期中や病気の回復期にあつて、かつ保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合に小児科や保育園に併設された施設で子どもを預かる事業。	病期中や病気の回復期にある概ね小学校3年生までの子ども	病児保育 月～水、金 9：00～18：00 （土曜日 ～13：00） 病後児保育 平日 7：30～18：00	病児保育 2,000円/日 （昼食代別途） 病後児保育 200円/時 （昼食・おやつ代含む）

サービス名	サービスの概要	対象者	利用可能時間	利用料
一時預かり事業	疾病等の緊急時及び育児疲れ解消等の理由で保育が必要となる場合に、一時的に保育所（園）で子どもを預かる事業。	一時的に保育に欠ける小学校就学前の子ども	月～金 8：30～17：00 週3日を限度とする	施設によって異なる
短期入所生活援助（ショートステイ）事業	保護者の疾病等により、子どもの養育が困難になった際、児童養護施設において子どもを預かる事業。	保護者の疾病、看護、災害などにより家庭での養育が困難になった子ども	7日以内	2歳未満 5,000円以内/日 2歳以上 2,500円以内/日
地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター・つどいの広場ゆーとりん）	保育所などに併設し育児に関する相談や指導を行うほか、子育てのための講習会などを企画・運営する事業。	就学前の子ども及びその保護者	月～金 地域子育て支援センター 9：00～16：00 つどいの広場ゆーとりん 9：00～15：00	無料 ※一部行事について実費負担
放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後等に学校や公共施設などで学習・スポーツ・文化活動などを体験する事業。	小学生・中学生	施設により異なる。	無料 ※ただし保険料、材料代あり
放課後児童クラブ（学童保育）	保護者が就労等により昼間家にいない場合などに、指導員の下、子供に放課後における生活の場を提供する事業。	保育に欠ける小学生	原則として下校時から概ね18：00ごろまで	施設により異なる。 ※概ね3,700～6,000円/月（平日）
児童館	児童の遊びの場として、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として設置されている施設。	概ね中学校3年生までの子ども及びその保護者	平日 9：30～17：00	無料

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿沼 | 2. 菊沢 | 3. 東大芦 | 4. 北押原 | 5. 板荷 |
| 6. 西大芦 | 7. 加蘇 | 8. 北犬飼 | 9. 東部台 | 10. 南摩 |
| 11. 南押原 | 12. 栗野 | 13. 粕尾 | 14. 永野 | 15. 清洲 |

お子さんとご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

相談先の有無 《1 つ選択》	相談相手／場所《複数選択可》
1. いる／ある	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ア. 祖父母等の親族</p> <p>ウ. 近所の人</p> <p>オ. 保健所・保健センター</p> <p>キ. 幼稚園教諭</p> <p>ケ. かかりつけの医師</p> <p>サ. その他（</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>イ. 友人や知人</p> <p>エ. 子育て支援施設（児童館等）・NPO</p> <p>カ. 保育士</p> <p>ク. 民生委員・児童委員</p> <p>コ. 自治体の子育て関連担当窓口</p> <p>）</p> </div> </div>
2. いない／ない	

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。【父子家庭の場合は記入不要です】

12-① 母親の「就労状況」と「就労時間」

「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※フルタイムとは1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

母親の就労状況 《1つを選択》	就労時間 《数字を一枠に一字記入》
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	<div style="text-align: right; padding-right: 10px;">▶</div> 家を出る時刻 <div style="text-align: right; padding-right: 10px;">時 分</div>
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	帰宅時刻 <div style="text-align: right; padding-right: 10px;">時 分</div>
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

12-② 母親のフルタイムへの転換希望

12-①で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

12-③ 母親の就労希望

12-①で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	
2. 1年より先、一番下の子どもが <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
希望する就労形態 《1つ選択》	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
希望する就労時間 《数字を記入》	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間

問 13 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。【母子家庭の場合は記入不要です】

13-① 父親の「就労状況」と「就労時間」

「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※フルタイムとは1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

父親の就労状況《1つを選択》	就労時間 《数字を一枠に一字記入》
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1週当たり <input type="text"/> 日
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

13-② 父親のフルタイムへの転換希望

13-①で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

13-③ 父親の就労希望

13-①で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）						
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい						
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい						
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">希望する就労形態 《1つ選択》</th> <th style="text-align: center;">ア. フルタイム</th> <th style="text-align: center;">イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>希望する就労時間 《数字を記入》</td> <td>1週当たり <input type="text"/> 日</td> <td>1日当たり <input type="text"/><input type="text"/> 時間</td> </tr> </tbody> </table>	希望する就労形態 《1つ選択》	ア. フルタイム	イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）	希望する就労時間 《数字を記入》	1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
希望する就労形態 《1つ選択》	ア. フルタイム	イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）				
希望する就労時間 《数字を記入》	1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間				

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。利用している方は、「現在の利用状況」と「今後の利用希望」をお答えください。利用していない方は「今後の利用希望」をお答えください。なお、時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

利用の有無 《1つ選択》	現在の利用状況			
1. 利用している	主に 利用している 事業 《1つ選択》	ア. 幼稚園		イ. 幼稚園の預かり保育
		ウ. 認可保育所		エ. 認定こども園（※）
		オ. 家庭的保育（※）		カ. 事業所内保育施設
		キ. 自治体の認証・認定保育施設（※）		ク. その他の認可外の保育施設
		ケ. 居宅訪問型保育（※）		コ. ファミリー・サポート・センター
		サ. その他（ ）		
		※現在鹿沼市に対象施設等なし		
	利用日数 《数字を記入》	1週当たり □ 日	利用時間帯 《数字を記入》	時 分～ 時 分
	↓ 今後の利用希望についてもご記入ください。			
2. 利用していない	主に 利用したい 事業 《1つ選択》	今後の利用希望 ※下記の（参考資料）をご参照の上、選択してください。		
		ア. 幼稚園		イ. 幼稚園の預かり保育
		ウ. 認可保育所		エ. 認定こども園
		オ. 小規模な保育施設		カ・家庭的保育
		キ. 事業所内保育施設		ク. 自治体の認証・認定保育施設
		ケ. その他の認可外の保育施設		コ. 居宅訪問型保育
		サ. ファミリー・サポート・センター		
		シ. その他（ ）		
	希望日数 《数字を記入》	1週当たり □ 日	希望時間帯 《数字を記入》	時 分～ 時 分
3. 希望はない				

（参考資料）

教育・保育事業名	教育・保育事業の内容	教育・保育事業名	教育・保育事業の内容
幼稚園	幼稚園の通常の就園時間の利用	幼稚園の預かり保育	幼稚園の通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ
認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの	小規模な保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設	自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
居宅訪問型保育	保育者が子どもの家庭で保育する事業	ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業

病気の際の対応について (平日日中の教育・保育事業を利用する方のみ)

問 19 問 14 で平日日中の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方にお伺いします。利用していない方は、問 22 にお進みください。

宛名のお子さんについて、この 1 年間に病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応を取る必要がありましたか。

必要性の有無 【1つ選択】		1年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】
1. あった	➔	ア.就労していない保護者が見た	□ □ 日
		イ.就労している母親が仕事を休んで見た	□ □ 日
		ウ.就労している父親が仕事を休んで見た	□ □ 日
		エ.(同居人を含む)親族・知人に預けた	□ □ 日
		オ.病児・病後児保育事業を利用した	□ □ 日
		カ.有料のベビーシッターを利用した	□ □ 日
		キ.仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
		ク.その他 ()	□ □ 日
2. なかった			

⇒問 20 へ

⇒問 21 へ

(参考資料)鹿沼市における病児・病後児保育事業の概要

病後児保育

概要	病気回復期にある乳幼児が、集団保育が困難で自宅での育児を余儀なくされる期間、一時的に預かる事業
実施場所	茂呂保育園(茂呂 1884-3)
対象者	概ね 1 歳～小学校 3 年生
利用可能時間等	午前 7 時 30 分～午後 6 時、月～金曜日(土日祝日年末年始を除く)
利用料	1 時間 200 円

病児保育

概要	病気が回復期でない乳幼児で、集団保育が困難で自宅での育児を余儀なくされる期間一時的に預かる事業
実施場所	小川こどもクリニック(貝島町 785)
対象者	概ね生後 9 週～小学校 3 年生
利用可能時間	午前 9 時～午後 6 時(土曜日は午前 9 時～午後 1 時) 月～水、金曜、土曜(木、日祝日、年末年始を除く)
利用料	1 日 2,000 円(午前、午後のみ其々 1,000 円)

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育事業や病気のための事業以外に、私用（買物・習い事等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用したい一時預かり等の事業はありますか。

利用希望の有無 【1つ選択】			年間希望延べ日数 【数字を記入】	
1. 利用したい	➡	希望する利用目的 【複数選択可】	ア. 使用、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
			イ. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
			ウ. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
			エ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
		希望する事業形態 【複数選択可】	ア. 幼稚園や保育所(園)などで子どもを預かる事業 イ. 地域子育て支援拠点事業で子どもを預かる事業 ウ. ファミリー・サポート・センター エ. その他	
2. 利用する必要はない				

問 24 宛名のお子さんについて、この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含む)。すべてのお子さんを合わせた状況で、必要性があった場合は、その際の対処方法を選択してください。

必要性の有無 【1つ選択】		1年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】
1. あった	➡	ア.(同居人を含む)親族・知人に預けた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
		イ.短期入所生活援助(ショートステイ)事業を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
		ウ.認可外保育施設、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
		エ.仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
		オ.仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
		カ.その他	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった			

問 25 問 24 で「ア.(同居人を含む)親族・知人に預けた」を選んだ方にお伺いします。

親族・知人に預ける場合の困難度はどの程度でしたか。【当てはまる番号1つに○】

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

小学校就学後における放課後の過ごし方について

⇒ 5歳未満の方は、問28へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校に就学された後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）に分けて、それぞれ希望する場所と週当たりの希望日数を数字でご記入ください。

希望する場所《複数選択可》	週当たりの希望日数《数字を記入》	
	低学年時（1～3年生）	高学年時（4～6年生）
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 ※3	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問27 宛名のお子さんについて、平日、土曜日と日曜日・祝日、長期の休暇期間中（春・夏・冬休み）に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

また、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時 のように24時間制でご記入ください

	利用希望の有無《1つ選択》	利用希望時間《数字を記入》
平日	※ 問26で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」選択した方 ⇒	下校時 から 時から 分まで
土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	時 分から 時 分まで
日・祝日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	時 分から 時 分まで
長期休暇中 (春・夏・冬休み)	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	時 分から 時 分まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

		取得の有無《1つ選択》	
母親	1. 取得した (取得中である)	➡	取得後の状況 《1つ選択》 ア. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問29へ イ. 現在も育児休業中である ⇒ 問30へ ウ. 育児休業中に離職した
	2. 取得していない	➡	取得していない理由 《複数選択可》 ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった エ. 仕事に戻るのが難しそうだった オ. 昇給・昇格などが遅れそうだった カ. 収入減となり、経済的に苦しくなる キ. 保育所(園)などに預けることができた ク. 配偶者が育児休業制度を利用した ケ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった コ. 子育てや家事に専念するため退職した サ. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) シ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった ス. 育児休業を取得できることを知らなかった セ. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した ソ. その他()
	3. 働いていなかった		

		取得の有無《1つ選択》	
父親	1. 取得した (取得中である)	➡	取得後の状況 《1つ選択》 ア. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問29へ イ. 現在も育児休業中である ⇒ 問30へ ウ. 育児休業中に離職した
	2. 取得していない	➡	取得していない理由 《複数選択可》 ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 仕事に戻るのが難しそうだった エ. 昇給・昇格などが遅れそうだった オ. 収入減となり、経済的に苦しくなる カ. 保育所(園)などに預けることができた キ. 配偶者が育児休業制度を利用した ク. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった ケ. 子育てや家事に専念するため退職した コ. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) サ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった シ. 育児休業を取得できることを知らなかった ス. その他()
	3. 働いていなかった		

問 29-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

母親	父親
□ 歳 □ □ ヶ月	□ 歳 □ □ ヶ月

問 29-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。また、利用しなかった場合、その理由についても合わせてお答えください。当てはまる番号○をつけてください

	利用の有無 《1つ選択》	利用しなかった理由《複数選択可》
母親	1. 短時間勤務制度を利用しなかった	ア. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる エ. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる オ. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した カ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった キ. 子育てや家事に専念するため退職した ク. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） ケ. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった コ. その他 ()
	2. 短時間勤務制度を利用した	

	利用の有無 《1つ選択》	利用しなかった理由《複数選択可》
父親	1. 短時間勤務制度を利用しなかった	ア. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる エ. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる オ. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した カ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった キ. 子育てや家事に専念するため退職した ク. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） ケ. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった コ. その他 ()
	2. 短時間勤務制度を利用した	

問28で「1-イ 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問30 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業（保育園等）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親《1つ回答》	父親《1つ回答》
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問31 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

----- ----- ----- ----- -----

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。